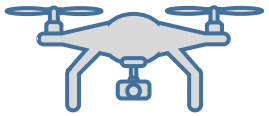
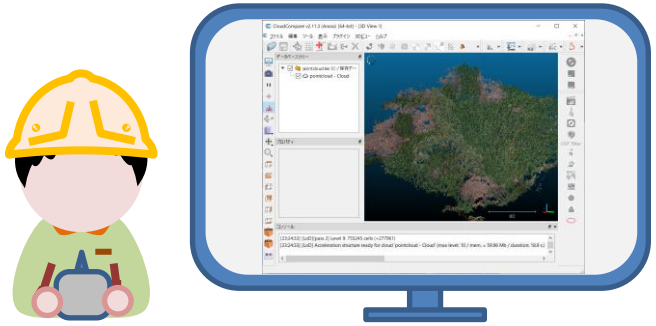
令和７年度群馬県UAV等活用研修概要

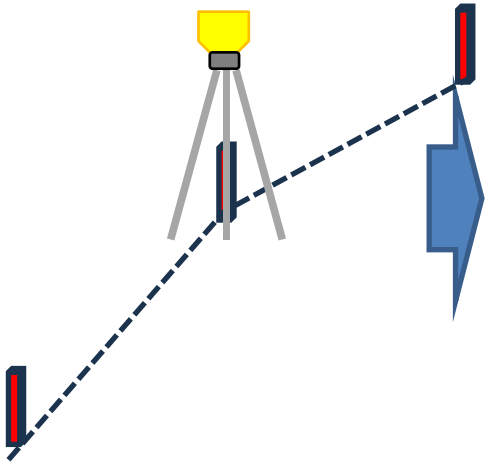
【現状・課題】
・UAVやGNSSを使用した測量は、新たな森林管理の手法として有効であり、今後必要性が高まる。
・造林補助事業の申請や検査業務でもUAVによるオルソフォトやGNSS測量の活用について、一部運用が開始されている。
・林業経営体ではこれらの技術者が不足している。
・外注では経費及び時間的に非効率である。

森林でのUAV撮影やオルソフォトの作成、GNSSに関する技術・知識を有する技術者が必要

UAV等デジタル技術を活用できる技術者の養成







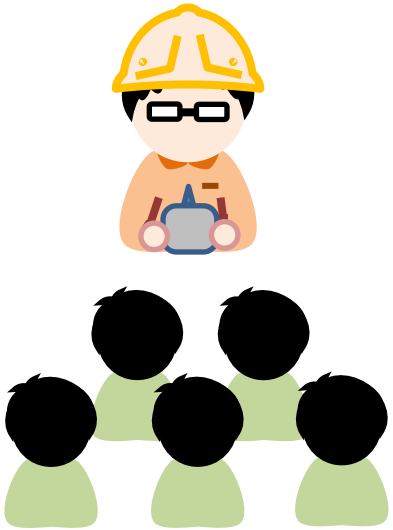
期待される効果

- 森林資源把握の効率化
- 測量の省力化
- 造林補助金申請業務の効率化
- 造林検査の一部省略

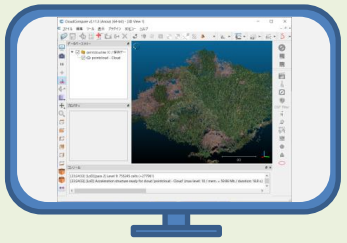
令和７年度群馬県UAV等活用研修【UAV基礎コース】（研修期間：５日間＋６か月）

集合研修 | 実地研修 | 補助金申請 | 最終成果発表

4 日間（24h）



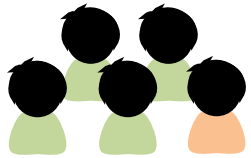
1～２日間（6h）
フォローアップ（現地）



中間報告会

中間での作業状況を取りまとめ、して、検証内容を明確にする。課題を整理

検査
（環境）森林事務所



集合研修

- UAVの基礎操縦
- 関係法令

2日間（12h）

- オルソフォト作成
- 補正処理

1日間（6h）

- 造林補助金申請データ作成　1日間（6h）
  ※GISの活用

実地研修

- 受講生による実地研修
- 受講生による飛行計画の作成、撮影、オルソの作成
- UAV機材は事務局（県）から貸与

令和７年度群馬県UAV等活用研修【GNSS活用コース】（研修期間：２日間＋６か月）

集合研修

１日間（6h）

集合研修

- GNSSの基礎知識
- GNSSの基本操作
- 造林補助金等申請データ作成
  ※GISの活用

実地研修

実地研修

- 受講生による実地研修
- 受講生によるGNSS測量の実施
- GNSS機材は事務局（県）から貸与

中間報告会

中間での作業状況を取りまとめ、課題を整理して、検証内容を明確にする。

補助金申請

検査

（森林事務所）

最終成果発表